



西宮市長

さらに、前へ!

石井としろう

が西宮市の未来を語ります!

Vol.3

2022年3月6日号



石井としろうプロフィール

・1971年5月生まれ(50歳)・慶應義塾大学卒業後、神戸製鋼所や日本総合研究所、参院議員政策担当秘書を経て、衆議院議員(09~12)・西宮市長(18~現在)・公共政策学修士(米ペンシルバニア大学院)、防災士、介護職員初任者研修修了、教員免許一種取得(高校公民科)・妻・娘(小学生)と日野町に在住

OPEN! 西宮 さらに、前へ! 重点3政策

市民の声を集めて作った「西宮の未来」政策集(100項目)はこちら▶▶▶



重点政策 1 子育て・教育のさらなる充実

18歳まで医療費無償化! <<所得制限なし!>>
待機児童ゼロと教育・保育の質の向上
放課後居場所事業の全校展開
全公立学校体育館にエアコン完備



重点政策 2 命を守り、暮らしを支える

徹底的なコロナ対策 事業者や生活の支援を実施!
認知症診断無償化、健康寿命を延ばすフレイル対策の拡充
コミュニティバスなど公共交通の拡充
県市統合新病院開院、市民病院跡地へ民間病院誘致
~救急医療体制の強化と最先端医療の提供

重点政策 3 未来につながるまちづくり

2030年までに公共施設電力ゼロカーボン達成
ベイエリア地域の再編・活性化
国道176号線早期全線開通と
北部地域の利便性向上、活性化



プラス α 市役所改革 さらに、前へ!

市民が主役 みんなのまちづくり
ICTの活用でスマートな自治体を実現
西宮市行政経営改革の堅実な遂行



みんなのまちづくりプロジェクトPRESS Vol.3 発行:2022年3月6日
〒662-0915 西宮市馬場町1-4-2階 Tel:0798-23-6200 Fax:0798-23-6201
E-mail:office@toshiro.jp URL:http://www.toshiro.jp

石井としろう
ホームページ



一緒に 石井としろうさんと 頑張りましょう!



高須町の皆さんと



歯科医院の皆さんと



市内大学生の皆さんと



ソフトボールチームの皆さんと



山口町でお仕事される皆さんと



南甲子園のご夫婦と



子育て中のファミリーと



子育て中の働くママさんたちと

西宮市長 石井としろうが 実現したこと

詳しくはこちらへ! 約90項目に及ぶ実績一覧へ▶▶▶



みんなの学が! 子育て予算アップ! 施策も大幅拡充!

- 待機児童の大幅改善 ▶▶▶ 2022年春はほぼ解消!
- 認可外保育施設利用者へ最大7万円の補助制度を新設!
- 乳幼児医療費助成を拡大 ▶▶▶ 小学3年まで所得制限を撤廃!
- 学校環境を大きく改善 ▶▶▶ 学校トイレ洋式化率アップ! 中学校体育館エアコン完備! ひとり一台タブレット導入!

みんなの動が! 市長退職金ゼロから始まる 行政経営改革!

- 市有財産の活用、事業の統廃合が前進!
- 地域の声を市政に ▶▶▶ 「市民の声」システム開始! 全校コミュニティスクールへ! LINEの活用で利便度大幅アップ!

みんなの暮が! シニアいきいき&みんないきいき支援! 暮らしにくさ“ゼロ”へ!

- 住みたいまちNo.1西宮を前へ ▶▶▶ 流入人口の増加! 都市ブランドアップ!
- いのち、健康を支える市政 ▶▶▶ 健康ポイント制度導入、がん検診拡充、危機管理センター完成で防災力向上!

プラス α 編! コロナ対策の積極的な取り組み

- 保健所強化、ワクチン接種加速、事業者支援、困窮者支援など ▶▶▶
- 県市統合新病院'25年開院 ▶▶▶ 感染症にも対応、救急ワークステーション併設
- 阪急武庫川新駅、国道176号大きく前進



4年間を振り返って

上田 いよいよ任期満了が近づいてきました。振り返ってどんな4年でしたか？

石井 まさに「激動」の4年間でした。前市長の突如辞任で数カ月空席だった市長のイスに当選の翌朝から座り、動揺していた市役所を堅実に回す。そこからのスタートです。就任早々に大阪北部地震が、また台風による大停電などもありました。

上田 そんな中、愚直に政策実現に努められた訳ですが、どう自己評価していますか？

石井 4年前に掲げた政策の達成度をまとめてみたら、市長退職金ゼロや待機児童の大幅改善など約80項目を数えることができました。

上田 資料を拝見しましたが、子ども食堂の支援や県市病院統合、障害者雇用の推進、ごみ処理場の統合など

と多岐にわたります。多くの市民の方に知ってもらいたいですね。

石井 私のホームページに動画や資料で公開していますのでご覧いただければと思います。(↓紙の資料請求は後援会事務所まで)

市の総力を挙げて取り組んだコロナ対策

上田 任期後半の2年はコロナ二色だったかと思いますが、対策で心掛けてきたことはありますか？

石井 第一は市民の皆さんをコロナ感染から守ること。西宮市は保健所設置市ですので、そこに他部署から多くの職員を動員し対応にあたりました。

上田 保健所業務のICT化も意欲的に進められたそうですが？

石井 もの凄いい勢いで感染者が増える中で人海戦術では追い付かない。な

さらに、前へ!

市長インタビュー



西宮市長

石井としろう

上田 勝嗣氏

インタビュー
後援会事務総長



環境の悪化も懸念されます。良質な住環境とのバランスを第一に。西宮が評価されているのはそこにもあると思います。

な対策をしましたが、まだ気を抜けません。待機児童問題は保護者の就業機会を奪ってしまう大きな問題です。引き続きしっかり対応していかなければなりません。

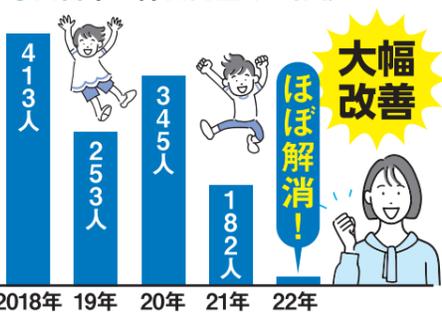
待機児童問題の大幅改善！さらに質の向上を

上田 今、待機児童のお話もありましたが、こちらの取組みはいかがですか？

石井 私が就任した2018年4月の待機児童は413名でしたが、2021年4月では182人と半減し、2022年4月にはさらに改善します。この4年間、国家戦略特区制度を活用するなどして約1,800名の枠拡大を図るなど、相当

上田 就任4年でゼロに近づくと見込みとは心強いですね。

西宮市の待機児童数の推移



らばICTで合理化して乗り越えるしかない。すると送り込まれた情報部局の職員らが自前でシステムを作り上げた。こうしたエネルギーが育っていることがとても心強いです。

上田 感染対策と共に地域経済や学校への対策も大切でした。

石井 子どもの学びを止めないこと、地域経済や地域社会をしっかり回すことを心掛けています。一時期あまりに感染者数が多くなりすぎて、学校も社会も回せないという事態になりました。市では学校の運用を見直して休業を限定的にするなど対応しました。

上田 感染対策をしっかりと行いながら社会を回す。このバランスに立って対応されたことが分かりました。これから急がれるのは3回目のワクチン接種ですね。

石井 西宮市では六カ月間隔でワクチン接種できるよう早い段階で前倒しするなど対応を進めています。引き続き最善の対策に全力をあげていきます。

所得制限なしで18歳まで医療費無償化

上田 今回の政策の柱のひとつに、「18歳まで医療費無償化」を掲げられています。その思いをお聞かせください。

石井 私は所得制限という制度自体あまり合理的でない、特に子育て政策に関しては、一定の所得を超えると行政サービスが受けられなくなることに違和感がありました。ほんの少し収入が上がった、もしくは共働きの収入が支障策がなくなるよう

ただ、中でも私が強く意識しているのが保育の質です。西宮市では国基準よりも手厚い保育士配置を行うなど、質を重視してきました。新たに「西宮市幼児教育保育ビジョン」を策定しましたが、今後もさらに質の向上をめざしていきたいです。

高齢者がいきいきと暮らすことを目指して

上田 高齢化が進む中で、健康寿命を延ばすことも重要になります。

石井 高齢者の方々が日々元気に過ごすために、西宮市では「いきいき体操」の普及などフレイル対策に力を入れ、現在約300のグループが取り組まれています。また、令和3年度から新たに健康ポイント制度を開始し、

ウオーキングなど健康増進への取り組みを後押ししています。令和4年度からは、健診データを基に保健師が健康指導を行う事業を始めると、健康寿命延伸に本格的に取り組む考えです。

上田 実に多彩ですね。町中には「どうぞベンチ」も見られるようになります。市が高齢者の健康づくりを応援してくれていることが伝わります。移動支援についてはいかがですか？

石井 今、市内2、3か所でコミュニティバスの運行を調整中で、新年度には試験運行される見込みです。これに続いて、市内の他地域でも移動ニーズをしっかりと汲み上げて充実に繋げていきたいですね。

上田 コミュニティバスへの期待が高まります。バス路線の拡充とあわせて、よろしく願います。

石井 あわせて、公民館の活性化や文化、芸術、スポーツ施策等の充実を図って、高齢者がいきいきと元気に暮らせるまちづくりを皆さんと一緒に進めていければと考えています。

「文教住宅都市・西宮の次のステージへ」

は、働く気がなくなってしまう。上田 その思いから、一項目からさっそく医療助成拡充に着手された訳ですね。国の子育て世帯への給付金にしても、西宮市は国が対象外とした所得制限以上世帯にも5万円の独自給付をされました。

石井 所得に関わらず子育て世帯を支え、働く意欲や女性の就労を応援したい。次の4年ではしっかり18歳まで、所得制限なしで医療費無償化を実現したいです。

上田 それはぜひ！西宮の人口がさらに高まるのではないでしょう

住みたい街ナンバーワンの西宮、増える流入人口

上田 西宮市は「住みたい街ナンバーワン」と評価されています。でも、人口減だという方もいますが、実際はどうなのでしょう？

石井 確かに人口が減っているのは事実ですが、主因は、お亡くなりになる方の数が増えていることにあります。令和2年は525人の自然減ですが、流出入では372人の増加で、この傾向は続いています。

上田 やはり西宮に住みたいと引



越してこれる方は多いですね。**石井** なかでも西宮北口周辺の瓦木地区や甲東地区は人口が増加しています。令和2年まで減少傾向だった鳴尾地区も増加基調に入りました。浜甲子園団地など再開発が進んだ成果だと思います。今後、北部地区の国道176号が開通すれば魅力がさらに高まり、活性化に繋がると期待しています。

上田 石井市政の成果によって、どんどん人口が増えていくことに期待が持てますね。

石井 ただ、人口増加だけを目標せばよいというものでもありません。例えば急激な人口増加があった場合、学校や保育所が十分受け皿を整えられず、子どもたちの学ぶ環境にも大きな影響があります。また、過度な人口集中は、交通渋滞など生活

上田 一項目から様々な課題に挑んできた石井市長、今後の抱負、未来の西宮への思いをお聞かせください。

石井 西宮市は「文教住宅都市」であり、住みたい街ナンバーワンであり続ける。これを追いかけることがやはり第一だと思

す。ただ、時代もどんどん移り変わっていきますので、その変化を見据え先取りする視点が大切になります。

上田 具体的にどういうことでしょうか？

石井 西宮市は大阪と神戸の間に位置し、鉄道網も充実、住宅都市としてここまで発展してきました。一方で、ICT化の進展やコロナ禍もあり、働き方も変わりつつあります。必ずしも皆が毎日電車で揺られて大都市に通わなくなっています。さらに、ここ数年で大規模商業施設も増え、西宮を出

ずとも快適に暮らせる環境が整っています。また、女性の就業意欲も高まっています。そうしたニーズに応える、市内での雇用創出にも期待が寄せられています。

上田 「文教住宅都市」が次のステージに進む、そう感じますね。

石井 もちろん、甲山や甲子園浜はじめ、良質な住環境は絶対に守らなくてはなりません。その上で、西宮市が市民にとってより「居心地の良いまち」となる様、私も引き続き汗をかきたい。その思いを強くしています。

上田 「居心地の良いまち」づくり、期待しています！

石井 一緒に頑張りましょう！

